

沖縄県支部 第 10 回地方会 活動報告

『身体障害診断書・意見書の記載について ～基礎から学ぼう！～』

沖縄県内施設の実務者、関係者対象

開催日時：2025年1月25日（土）14：00～16：30

医療法人おもと会 大浜第一病院にて第10回沖縄地方会を開催しました。沖縄県現地開催で医師事務作業補助者、その関係者20施設、63名が参加しました。

【開会ご挨拶】

・大浜第一病院 大城 康一院長

2020年より蔓延した新型コロナウイルス感染症で沖縄県内施設は外来や入院の制限、緊急性のない手術の延期や病棟の減床などの対応を余儀なくされました。また昨今の世界情勢の影響で物価高や資材高騰もあり県内の各施設の7割は赤字経営という苦しい状態が続いています。

全国的に高齢化社会も進んでいく中、病院の質向上が必要です。

そのためには医師の業務の効率化が必要であり、医師事務作業補助者の皆さんの文書作成や電子カルテ入力代行の協力が大きな力となります。このような勉強会で多くを学んでいただき医療に貢献して頂ければと思います。益々の活躍を期待しています。

【第1部】身体障害者診断書の基礎

・講師 沖縄県生活福祉部 身体障害者更生相談所 玉城 結衣さん

身体障害者診断書・意見書記入における留意事項を共通事項、傷害毎の事項に分けて解説いただきました。

提出された文書でよく記載漏れがある項目や、添付が必要な項目など詳細にお示しいたゞき文書作成業務に役立つ内容をご講演いただきました。

【第2部】グループディスカッション

第2部では担当科の文書毎で少人数グループに分かれ、日頃の疑問や日頃の対応に関して意見交換を行いました。

ディスカッションで各グループからでる質問に更生相談所の担当者である玉城さん、榮野川さん、大浜さんが直接回答、解説し各グループとも熱心に質問し耳を傾けていました。

おわりに

・沖縄県支部 支部長 備瀬 澄子

診断書作成は、医師が患者様の状態を詳しく把握し、必要な治療や支援策を考えるきっかけとなります。患者様の障害状態に応じた適切なフォローアップや医療サービスの提供が出来ると思います。

今回学ばれた事が皆様の日々の業務に少しでもお役立ていただければ幸いです。

医師事務作業補助者にとって知識は、「正確な業務の遂行」や「医師や患者との信頼構築」「医療安全の確保」に欠かせない要素となります。

常に学び続ける姿勢を持つことで、私たちの職種が医療現場にとってなくてはならない存在としてこれからも活躍することができます

このような機会を通じて、医師事務作業補助者としての役割やスキルをさらに高め、より良い医療現場の支援につなげていけるよう、共に成長していければと思っております。

この度は当支部の地方会にご参加頂きました皆様に心より御礼申し上げます。

沖縄県支部 支部長
備瀬 澄子（那覇市立病院）